

緊急地震速報

この秋、スタート



緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせすることを目指す新しい情報で、今年9月頃から提供を開始する予定です。

緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を強い揺れが来る前にお知らせするものです。

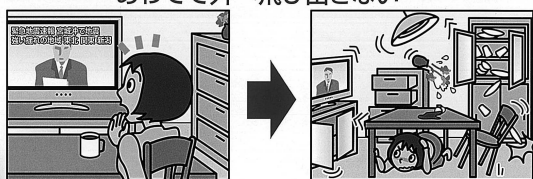
震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします。

ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

【問い合わせ先】気象庁地震火山部管理課

☎03-3212-8341

家庭では 頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
あわてて外へ飛び出さない



人がおおぜいいる施設では

係員の指示に従う
落ちついて行動
あわてて出口に走り出さない



自動車運転中は
あわててブレーキをかけない
ハザードランプを点灯し、
揺れを感じたらゆっくり停止



緊急地震速報「利用の心得」

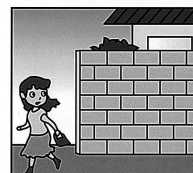
周囲の状況に応じて

あわてずに

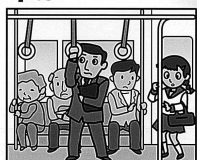
まず身の安全を確保する！

緊急地震速報は見聞してから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません
その短い間に身を守るための行動を取る必要があります

屋外(街)では
ブロック塀の倒壊等
看板や割れたガラスの落下に
注意し、ビルのそばから離れる



鉄道・バス乗車中は
つり革、手すりに
しっかりつかまる



エレベーターでは
最寄りの階で
停止させすぐに
降りる



山やがけ付近では
落石やがけ崩れに注意

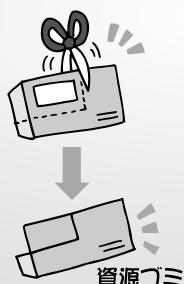


町では、もったいないを合言葉に ごみの減量化を推進しています。

今回は、可燃ごみ量を少しでも減らすため下記のことを実施してみましょう。もったいないから始めよう！

いろいろなことを、急に始めるのは大変なので、まずは無理のない範囲で、手軽にごみ減らしを始めてみましょう。

・ダイレクトメールや封筒等の紙を、古紙として分別す



る。(住所、氏名、電話等は切り取ってください。)
・生ゴミを三角コーナーやネットなどにためている場合は、最後にギュッとひと絞りにして、水分をカットしてから捨てましょう。このひと手間で、ごみの重さが大きくちがってきます。(コンポストに使うときも、水分は絞った方がいいんだって)

